**平成２８年度　社会福祉法人　敬和会　事業報告**

**事業総括**

　社会福祉法人敬和会では、経営の自律性の強化と安定性の確保等を調和させた「法人経営」という考え方を持ち、基本理念の一つである「安らかなる老人の生き甲斐を守り育む」精神を日々の支えとする中で、「地域と共に育つ施設づくり」を実践してまいりました。

　また、法令遵守をはじめ幾つかの行動指針を掲げる中、理事・評議員・監事の皆様の適切なご指導を仰ぎ、ご利用者様やご家族様に信頼される福祉サービスの提供を行うため、きめ細やかな事業を展開してまいりました。

本年度の特徴として、

①　平成28年度、整備した遊歩道およびパーゴラは、ご利用者、ご家族、職員の癒しの場として親しまれ、好評を受けております。

②　平成28年度より給食業務の直営化を開始し、健康的な食生活を提供することが出来、ご利用者のニーズに応えるよう、四季折々のメニューを提供しました。

**主な実績**

①　管理職養成の研修会活性化

　　　職員の意欲を引き出す処遇と育成を発展的に継続し、成長を促せるよう、管理職員のマネジメント力を高め、一般職員の資質やモチベーションの向上を目的とする人事考課制度の検討、障がい者支援事業への模索などの研修会を実施し、事業化に向けて検討を重ねています。

②　介護業務記録システム「Notener（ノートナー）」の運用のための取り組み

　　　今年度の重点取り組み事項の一つに「業務の合理化と科学化の取り組み」を掲げました。

　　　その具体的取組みとして、「Notener」の研修を実施し、次年度の準備そして体制作りを構築しました。

③　施設内研修会の充実と外部研修会の奨励

　　　自律性を高め、職員一人ひとりのスキル・能力を高めていくために、積極的に受講させた。

④　障害者雇用への試み

　　　障害のある人が障害者のない人と同様、その能力と適性に応じた雇用の場

に就き、地域で自立した生活を送ることができるような共生社会の実現を目

指し、今回初めての試みとして伊勢原養護学校の生徒1名を現場実習として

受け入れました。

その実習内容は「清掃業務」および「厨房業務」を行い、本人はもとより

学校の教員並びにご家族から感謝を頂くことができました。

その結果、平成29年度パート職員ではありますが、厨房業務として採用

に繋げることができました。

⑤　施設環境の整備

　　　遊歩道・パーゴラの整備および給水設備（受水槽）を改修し、ご利用者の

皆様が日々「安心して過ごせる生活保障」を実現しました。

⑥　給食の直営化

　　　平成28年度より、ご利用者のご要望に応えられるよう、給食を直営化にいたしました。

　　　食を通しての健康づくりをめざして、管理栄養士をはじめ、スタッフがアイデアを駆使した食事の提供を実施しました。

⑦　特定事業所加算Ⅲの取得

　　　居宅介護支援では、平成29年1月に主任ケアマネ資格を取得し、2月より特定事業所加算Ⅲを取得することができました。

⑧　特定事業所加算Ⅱの取得

　　　ケアプランセンターけいわでは、ケアマネージャー増員により平成２８年10月より特定事業所加算Ⅱを取得することができました。

⑨　地域包括ケアシステムの推進

　　　鳶尾団地内でタウンミーティングを３回実施し、地域のニーズと人的資源について協議をすることができました。

**部門総括**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 重点取組事項 | １．生活支援課 | ２．地域支援課 |
| 利用者サービスの充実 | * ご家族様との交流を大切にして、面会時には積極的にコミュニケーションを図った。 * ご利用者様主体のケアの実践に取り組めた。 * 住み心地良い環境づくりに取り組めた。 * 看取りに関して、理解度にばらつきがあり、職員全員の共通認識の差を埋める努力が必要である。 * 関係部署との情報交換を行うことで、多様なニーズの利用者を受け入れることができた。 * 身寄りのいない利用者が増え、入所後に成年後見人の申請をする方のサポートを行った。 * ケアプランを通し、意欲的に生活が送れるよう支援の実践に努めた。 | * 他事業所との情報共有や目標達成状況等を正確に把握し、協働することができた。 * アクティビティを通して利用者の笑顔を引き出すことができた。 * 毎朝のミーティングで情報共有と意見交換を行うことができた。 * 利用者の身体・生活状態を感知し、関係機関と密に情報交換を行い、身体や生活環境が低下しないように努めた。 * 利用者個人が食事しやすいよう細かい部分まで食形態の対応をしたが、まだ不十分である。 * 関係機関との連携により、地域の社会資源を含めた情報共有を行った。 |
| 職員及び指導層の充実と育成 | * 他部署との情報交換や共有を図り、スキルアップができた。 * 委員会、行事等で各職員が主体的にリーダーシップを図れるための環境づくりと意見交換が行えるよう努力した。 * 事故防止への取り組みについて、報告書を記載するに留まらず、考えるための助言を施した。 * 新入職員には情報や経験を伝え、サポートするように努めた。 * 外部研修について、例年より多くの職員を参加させることができた。 * 介護支援専門員更新研修参加者の研修内容の発表や提案をもとに、業務のあり方を意見交換するなどスキル向上に努めた。 | * 施設内外研修に参加することにより、個々のスキルを上げることができた。 * 法人全体の経営を常に意識した行動をし、法改正や制度改正にも敏感に事業展開を考え、行動してきた。 * 利用者の気持ちに寄り添い、親切・丁寧な援助を行い、「いつも気持ちよく生活できてうれしい」の言葉があり、信頼されることができた。 * 衛生管理、吐物処理等実践を交えて研修することができた。 |
| 業務の合理化と科学化の取り組み | * 介護記録等ICT導入が円滑に進むよう、職員全員が前向きな姿勢で取り組める環境づくりや研修等に参加することで、業務の改善に向けた取り組みを行うことができた。 * 業務の分担や段取りを行うことで、迅速に業務を遂行した。 * 報告・連絡・相談のツールについて、何通りか用意していきたい。 * 業務の見直しについては、その都度行うことができたが、マニュアルの作成には至らなかった。 * 各担当者会議を定期的に開催し、生活支援についての意見交換を行い、安心できる環境づくりに努めた。 * ユニテでは、年４回の地域推進会議を開催し、地域から支持される施設づくりに努めた。 * 来年度よりの記録システムのICT化に伴い、支援記録においても円滑に管理できるよう取り組んでいきたい。 | * ほのぼのNEXT上の情報管理を細かくすることで、業務の合理化が図られた。 * ICTの外部研修に参加し、情報の電子化に関する知識を習得した。 * 効率の良い事務作業を行うことができた。 * 利用者の身体・生活状況の変化時には、関係部署との報告・連絡・相談を速やかに取ることができた。また、電子化を利用し、施設内の情報を共有することができた。 * 栄養士が多くの研修、研究会、勉強会に参加し、知識の吸収に努めた。 * ほのぼのNEXTを活用し、紙ベースを減らすことができた。 * タウンミーティングを開催し、地域福祉の基本と地域アセスメントに着手した。 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 重点取組事項 | | ３．管財課（※詳細は後述） | | | | |
| ライフライン安定供給の構築 | | * 9月より給水管布設および受水槽工事を着工→12月上旬完了。 * エコキュート導入により、45％灯油の削減が実現した。 * 施設侵入防止のセンサーライトの設置を行った。 | | | | |
| 地震防災の強化と防火対策 | | * 各部署単位の防災マニュアルをフローチャート方式で作成した。 * 職員に対する安否確認メールの登録および返信方法の確認を行った。 | | | | |
| 交通事故防止活動の実施 | | * 各季節の交通安全週間に合わせて、『けいわ荘安全運転10ヶ条』を標示し、交通規則を遵守するよう教育した。 * 人身事故は皆無でした。 | | | | |
| **主な平成28年度施設補修・改修関係内訳書** | | | | | | |
| 番号 | 補修・改修項目 | | 場所 | 番号 | 補修・改修項目 | 場所 |
| 1 | 新設受水槽基礎工事 | | 施設 | 8 | 給水施設改修電気工事 | 施設 |
| 2 | プロジェクター交換 | | 通所介護 | 9 | 給水引込、受水槽工事 | 施設 |
| 3 | エアコン修理 | | 通所介護 | 10 | 受水槽目隠しﾌｪﾝｽ工事 | 施設 |
| 4 | 新設受水槽フェンス | | 施設 | 11 | 機械室換気装置修理 | 新館地下 |
| 5 | 温蔵庫交換 | | 厨房 | 12 | 浄化槽水中ﾌﾞﾛｱ2台交換 | 新館 |
| 6 | 3モーターベッド購入 | | 一般棟 | 13 | ｴﾚﾍﾞｰﾀｲﾝﾊﾞｰﾀ修理 | ユニテ |
| 7 | 機械浴槽修理 | | 全般 | 14 | 全自動軟水器増設 | 厨房 |

|  |  |
| --- | --- |
| 重点取組事項 | ４．総務課（※詳細は後述） |
| 利用者サービスの充実 | * 介護職員がクオリティの高いサービスの提供が行えるよう、その裏方として、事務職員一丸となって協力した。 |
| 職員及び指導層の充実と育成 | * 年3回の施設内研修及び外部研修会への参加奨励により、多くの収穫を得ることができ、職員のスキルアップに繋がった。 |
| 業務の合理化と科学化の取り組み | * 膨大な事務書類のデジタル化を構築する準備と仕組み・方法を検討し、次年度以降試行していく。 |
| 経営力アップと新規事業への取り組み | * 障がい者就労支援の一環として、養護学校生1名を受け入れ、現場実習を実施。調理補助員として採用するに至った。次年度以降も養護学校生の現場実習を積極的に受け入れていく予定である。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 重点取組事項 | ５．ケアハウスえがりて |
| 利用者サービスの充実 | * 自分らしく生き生きとした日々を過ごしていただくため、個々のニーズに合わせたサービスの提供を行うことができた。 |
| 職員及び指導層の充実と育成 | * 各種委員会に参加し、他部署との情報の共有化に努めた。 |
| 業務の合理化と科学化の取り組み | * ほのぼのNEXTを活用し、業務の効率化が図られた。また、次年度の向けて、情報の電子化を進めていく予定である。 |

**【部門別事業報告】**

**１．生活支援課**

**総　括**

接遇マナーの向上を目指す中で、利用者やその家族と、より良好な関係を築き、十分な意思の疎通を図ることで、利用者が満足できる良質なサービスの提供を心掛けてまいりました。また、施設での生活が安全で快適なものとなるよう危険箇所の把握等の分析はもとより、危機管理体制の強化に向け職員間で情報の共有を蜜に行い、事故の未然防止に努めてまいりました。併せて、利用者のニーズを的確に把握し、状態に応じた適切な介護サービスが適時に提供できるよう個別ケアの推進に力を傾注してまいりました。

　　　さらに、実習生やボランティアを積極的に受け入れ、人材の確保及び育成に繋げてまいりました。

①　入所者諸状況（平成2９年3月31日時点）

１）男女別入所者年齢構成

2）平均在所期間　　　　　　3）平均年齢、最高・最低年齢

　　〔高齢者生活支援施設　けいわ荘〕

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平均在所期間 |  |  | 入所者数 | 平均年齢 | 最高年齢 | 最低年齢 |
| 男性 | 2年３ヵ月 | 男性 | １３名 | ８１．６歳 | ９８歳 | ６９歳 |
| 女性 | ３年０ヵ月 | 女性 | 6７名 | ８５．１歳 | １００歳 | ５０歳 |
| 平均 | ２年７ヵ月 | 計 | 80名 | ８３．４歳 |  |  |

〔特別養護老人ホーム　ユニテ　けいわ〕

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平均所在期間 |  |  | 入所者数 | 平均年齢 | 最高年齢 | 最低年齢 |
| 男性 | ２年１１ヵ月 | 男性 | １名 | ８０．４歳 | ８０歳 | ８０歳 |
| 女性 | １年9ヵ月 | 女性 | １７名 | ８９．５歳 | １０１歳 | ６９歳 |
| 平均 | ２年４ヵ月 | 計 | １８名 | ８５．０歳 |  |  |

4）介護保険　要介護度別人数

５）年間施設稼働実績表（稼働率）

〔高齢者生活支援施設　けいわ荘〕定員82名

平成2８年度稼働率9７.０％

平成2７年度稼働率9８.１％

〔特別養護老人ホーム　ユニテ　けいわ〕　定員18名

平成2８年度稼働率9８.８％

平成2７年度稼働率9５.２%

%

６）年間施設稼動実績表（実数）

ⓐ　高齢者生活支援施設　けいわ荘

※　施設の定員は８２名です。各月の合計数は、退所者数（永眠）と新規入所者数が重複加算されています。

ⓑ　特別養護老人ホーム　ユニテ　けいわ

※　施設の定員は１８名です。各月の合計数は、退所者数（永眠）と新規入所者数が重複加算されています。

７）クラブ活動実績表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | １ | ２ | ３ | 合　計 |
| 音楽療法 | 189 | 147 | 163 | 181 | 149 | 175 | 140 | 141 | 156 | 114 | 155 | 180 | 1,890 |
| ﾌﾗﾜｰｱﾚﾝｼﾞﾒﾝﾄ | 6 |  |  |  | 7 |  |  |  | 6 |  |  |  | 19 |
| 踊り | 19 | 21 | 23 |  |  |  | 26 | 22 |  |  | 24 | 26 | 161 |
| 生花 | 10 | 10 | 10 | 9 | 10 | 10 | 6 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 110 |
| 合　計 | 224 | 178 | 196 | 190 | 166 | 185 | 172 | 172 | 171 | 123 | 188 | 215 | 2,180 |

８）行 事 報 告

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実 施 日 | 行 事 名 | 利用者参加人数 |
| 平成28年　4月　4日 | お花見（けいわ荘園庭） |  |
| 6日 | ホーム喫茶 | 64名 |
| 7日 | 生活排水説明会 | 5名 |
| 8日 | 4月誕生会 | 誕生者11名 |
| 17日 | 陽だまり1丁目クッキング（ピザトースト） | 34名 |
| 19日 | ユニテひまわりおやつ作り（焼きそば） | 9名 |
| 21日 | 消防訓練 | 27名 |
| 30日 | ユニテさくらおにぎり作り | 9名 |
| 5月　９日 | 5月誕生会 | 誕生者6名 |
| 11日 | ホーム喫茶 | 52名 |
| 16日 | 陽だまりお茶会（けいわ荘園庭） | 15名 |
| 1８日 | 春の遠足（ユニテ）：愛川公園 | 3名 |
| 27日 | 役員会 |  |
| 29日 | さざんかクッキングクラブ（チョコレートフォンドュ） | 24名 |
| 30日 | 春の遠足（ユニテ）：平塚総合公園 | 4名 |
| 6月　1日 | ホーム喫茶 | 55名 |
| 2日 | かながわ高齢者福祉研究退会 |  |
| 4日 | 荻野小学校運動会参加 | 2名 |
| 8日 | ケアハウスえがりて（握り寿司バイキング） | 26名 |
| 8日 | 春の遠足（コスモス）：宮ヶ瀬湖畔園地 | 5名 |
| 15日 | 春の遠足（さざんか）：愛川公園 | 3名 |
| 20日 | 陽だまり（ホッケーキ作り） | 15名 |
| 21日 | ユニテひまわり（おやつ作り） | 9名 |
| 21日 | 6月誕生会 | 誕生者16名 |
| 22日 | ユニテさくら（ホットケーキ作り） | 9名 |
| 29日 | コスモス（昼食おかず作り） | 28名 |
| 7月　5日 | 開所記念日 |  |
| 6日 | ホーム喫茶 | 55名 |
| 13日 | 7月誕生会 | 誕生者11名 |
| 28日 | 納涼祭 |  |
| 31日 | 陽だまり（花火大会） | 15名 |
| 8月　3日 | ホーム喫茶 | 65名 |
| 14日 | 夕涼み会（けいわ荘園庭） | 22名 |
| 18日 | 8月誕生会 | 誕生者8名 |
| 24日～25日 | 高校生インターンシップ（愛川高等学校） | 1名 |
| 26日 | ふれあい交流会（バーベキュー） | 32名 |
| 9月　6日 | 9月誕生会 | 誕生者7名 |
| 17日 | 敬老会 |  |
| 17日 | 役員会 |  |
| 26日 | 物故祭 |  |
| 10月　3日～14日 | 現場実習（伊勢原養護学校） | 1名 |
| 5日 | ホーム喫茶 | 58名 |
| 5日 | 赤い羽根共同街頭募金 | 3 |
| ８日 | 運動会（雨天のため多目的ホール） | 48名 |
| 8日 | 荻野中学校介護体験 | 2名 |
| 13日 | デイサービス風船バレー大会（荻野運動公園） |  |
| 14日 | 10月誕生会 | 誕生者6名 |
| 17日 | 秋の遠足（陽だまり）：ガストとドライブ | 4名 |
| 20日 | 防災訓練 | 30名 |
| 20日 | 陽だまり（喫茶） | 30名 |
| 25日 | ユニテ（さくら）食欲の秋：フルーツポンチ | 9名 |
| 25日 | ユニテ（ひまわり）おやつ作り | 9名 |
| 27日～28日 | 小鮎中学校介護体験 | 2名 |
| 11月　2日 | ホーム喫茶 | 45名 |
| 7日～12月5日 | 介護実習Ⅱ（和泉短期大学） | 1名 |
| 11日 | 岡田保育園慰問 |  |
| 14日 | 11月誕生会 | 誕生者10名 |
| 14日～25日 | 現場実習（伊勢原養護学校） | 1名 |
| 15日 | 秋の遠足（さざんか・コスモス） | 5名 |
| 21日 | 陽だまり2丁目蒸し料理とデザート作り | 15名 |
| 21日 | ユニテ（ひまわり）おやつ作り | 9名 |
| 30日 | ユニテ（さくら）焼き芋 | 9名 |
| 12月　7日 | ホーム喫茶 | 50名 |
| 7日 | クリスマスツリー見学 | 10名 |
| 14日 | 12月誕生会 | 誕生者7名 |
| 15日 | ユニテ（さくら）クリスマス会 | 9名 |
| 17日 | ユニテ（ひまわり）クリスマス会 | 9名 |
| 19日 | 陽だまりクリスマス会 | 30名 |
| 21日 | さざんか：クリスマス会 | 23名 |
| 21日 | コスモス：クリスマス会 | 28名 |
| 28日 | 餅つき | 59名 |
| 29日 | 仕事納め |  |
| 平成29年1月　1日 | お屠蘇・正月膳 |  |
| 1日 | 陽だまり初詣 | 3名 |
| 2日 | 正月膳 |  |
| 3日 | 正月膳 |  |
| 19日～20日 | 荻野中学校介護体験 | 2名 |
| 4日 | 仕事始め |  |
| 4日～31日 | ふれあい書道展参加 | 5名 |
| 7日 | 七草粥 |  |
| 12日 | 鏡開き |  |
| 13日 | どんど焼き |  |
| 17日 | 1月誕生会 | 誕生者17名 |
| 18日 | コスモス新年会 | 28名 |
| 23日 | ユニテ初詣：半増坊 | 3名 |
| 27日 | ユニテ初詣：半増坊 | 3名 |
| 2月　1日 | ホーム喫茶 | 55名 |
| 3日 | 陽だまり節分 | 30名 |
| 3日 | ユニテ節分 | 18名 |
| 8日 | さざんかクッキング（豚汁作り） | 23名 |
| 9日 | 2月誕生会 | 19名 |
| 16日 | 陽だまり（喫茶） | 30名 |
| 3月　1日 | ホーム喫茶 | 48名 |
| 3日 | ひな祭り |  |
| 8日 | ボランティア親睦会 |  |
| 12日 | ふれあい交流会 | 30名 |
| 15日 | 3月誕生会 | 13名 |
| 24日 | 役員会 |  |
| 24日 | ユニテ（さくら）：お寿司バイキング | 9名 |

　９）諸会議

ⓐ　委員会

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 労働安全衛生 | 身体拘束廃止 | 接　　　遇 | 施設研修 | 事故防止 | 感　染　症 | マニュアル |
| 年間実施回数 | 1０ | 5 | ４ | ９ | 3 | ５ | １０ |

　　ⓑ　生活支援課委員会　　　　　　　　　ⓒ　行事実行委員会

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 入退所 | 給食 | ふれあい |  |  | 納涼祭 | 敬老会 | 地域密着型  運営推進会議 |
| 年間実施回数 | 12 | 12 | ５ | 年間実施回数 | 2 | 2 | 4 |

1. 地域交流実績

１）大学教員志望介護実習生の受入れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 | 人　数 | 学　校　名 | 人　数 |
| 東海大学 | 1 | 明星大学 | 1 |
| 松蔭大学 | 1 | 横浜国立大学 | 1 |
| 杏林大学 | 1 | 東京工芸大学 | 9 |
| 昭和音楽大学 | 1 |  |  |
| 総　　　数 | 15 | | |

２）介護実習生の受入れ　　　　　　　　３）看護専門学校実習生の受入れ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 | 人　数 |  | 学　校　名 | 人　数 |
| YMCA健康福祉専門学校 | 1 | 厚木看護専門学校 | 14 |
| 和泉短期大学 | 1 |  |  |
| 総　　　数 | 2 | 総　　　数 | 14 |

４）慰　問

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団 体 名 | 人　数 | 団　体　名 | 人　数 |
| みやびの会 | 24 | ガールスカウト | 14 |
| 厚木キリスト教会 | 19 | けいわ保育園 | 13 |
| 尺八 | 4 | 岡田保育園 | 1８ |
| 荻野小学校生徒 | 16 | 総　　数 | 119 |
| 厚木市立厚木中学校演劇部 | 11 |

５）介護体験・インターンシップ　　６）養護学校現場実習生受入れ（2回実施）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　　校　　名 | 人　　　数 |  | 学　　校　　名 | 人　　　数 |
| 厚木市立荻野中学校 | ４ | 県立伊勢原養護学校 | 1 |
| 厚木市立小鮎中学校 | ２ |  |  |
| 横浜市立瀬谷中学校 | 2 |  |  |
| 神奈川県立愛川高等学校 | １ |  |  |
| 県立清南高等学校 | 1 |  |  |
| 総　　　　数 | 10 | 総　　　　数 | 1 |

1. ボランティア実績表

１）団　　　体（延べ689名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 団体名  月 | 土の会 | 育の会 | コスモスの会 | 緑ヶ丘  民生 | 厚木北  民生 | 荻野民生 | 厚木シニア  クラブ | トキの会 | 総　数 |
| 援助内容 | リネン交換  納涼祭補助 | リネン交換  納涼祭補助 | リネン交換  納涼祭補助 | リネン交換  納涼祭補助 | リネン交換  ホーム喫茶  納涼祭補助 | リネン交換  納涼祭補助 | 縫い物  納涼祭補助 | 通所介護 |
| ４ | 11 | 8 | 4 | 0 | 10 | 25 | 7 | 3 | 68 |
| ５ | 9 | 10 | 0 | 0 | 10 | 27 | 8 | 2 | 66 |
| ６ | 5 | 7 | 4 | 6 | 10 | 20 | 8 | 3 | 63 |
| ７ | 9 | 10 | 2 | 0 | 9 | 35 | 8 | 1 | 74 |
| ８ | 8 | 4 | 4 | 6 | 10 | 15 | 8 | 4 | 59 |
| ９ | 5 | 8 | 0 | 0 | 0 | 24 | 8 | 1 | 46 |
| 10 | 5 | 10 | 4 | 0 | 8 | 27 | 8 | 0 | 62 |
| 11 | 7 | 9 | 4 | 5 | 10 | 29 | 8 | 2 | 74 |
| 12 | 6 | 7 | 4 | 0 | 9 | 17 | 8 | 2 | 53 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 16 | 3 | 3 | 26 |
| 2 | 7 | 11 | 0 | 0 | 4 | 24 | 8 | 2 | 56 |
| 3 | 8 | 8 | 4 | 0 | 5 | 8 | 6 | 3 | 42 |
| 総　数 | 80 | 92 | 30 | 17 | 89 | 267 | 88 | 26 | 689 |

２）個人ボランティア（延べ144名）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 援助内容  月 | 傾　　聴  （４名） | 車椅子清掃  （3名） | よもやま話  （1名） | 理　容  （1名） | 生　花  （３名） | 総　数 |
| ４ | 0 | 3 | 2 | 1 | 3 | 9 |
| ５ | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 13 |
| ６ | 8 | 3 | 2 | 0 | 3 | 16 |
| ７ | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 13 |
| ８ | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 13 |
| ９ | 4 | 3 | 2 | 0 | 3 | 12 |
| 10 | 3 | 3 | 2 | 0 | 3 | 11 |
| 11 | 6 | 3 | 1 | 1 | 3 | 14 |
| 12 | 5 | 3 | 1 | 0 | 3 | 12 |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 3 | 9 |
| 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 3 | 10 |
| 3 | 4 | 3 | 1 | 1 | 3 | 12 |
| 総　数 | 48 | 36 | 18 | 6 | 36 | 144 |

【施設ケアマネージャー】

プラン実績表

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　署 | 年間総数 |
| 一般棟１階（さざんか） | 32 |
| 一般棟２階（コスモス） | 41 |
| 認知症棟（陽だまり） | 37 |
| ユニット棟（さくら・ひまわり） | 24 |
| 総　　　数 | 134 |

【栄　養】

■　入所者の主食形態・副食形態表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主食形態  副食形態 | 米飯A（220ｇ） | 米飯B（150ｇ） | 米飯C（110ｇ） | 軟飯A（270ｇ） | 軟飯B（180ｇ） | 軟飯C（140ｇ） | おにぎり | 全粥A（360ｇ） | 全粥B（220ｇ） | 全粥C（150ｇ） | 粥ゼリー | 総　数 |
| 常　食 |  | 36 | 3 |  | 2 | 1 |  |  | 2 | 2 |  | 46 |
| 軟菜食一口大 |  |  | 7 |  | 1 | 2 |  |  | 1 |  |  | 11 |
| 軟菜食刻み |  | 4 | 7 | 1 | 2 | 1 | 3 |  | 2 | 3 |  | 23 |
| 軟菜食極刻 |  | 1 |  |  |  | 2 | 1 |  | 12 | 3 | 1 | 20 |
| 軟菜食ｿﾌﾄ |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 | 3 | 9 | 5 | 19 |
| 軟菜食ﾐｷｻｰ |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 総　数 | 0 | 41 | 17 | 1 | 5 | 6 | 5 | 1 | 21 | 18 | 8 | 123 |

※経 管 栄 養　 3名

※栄養補助食品　20名

**２．地域支援課**

**総　括**

利用者が住み慣れた地域の中で、いつまでも自立して、健やかに安心・安全な生活を営むことができるよう、生活環境の整備を側面から支援するとともに、生活意欲の高揚に繋がるキメ細やかな心のこもったサービスの提供に努めてまいりました。

　　　また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者個々人やご家族の立場に立った利用者本位のサービスの提供を実践してまいりました。

保険者、公的機関、医療機関や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携および相互連絡を積極的に実施し、ご利用者が充実した生活を送ることができるよう、総合的サービスの提供に努めてまいりました。

地域との結びつきを重視し、地域行事への参加を積極的に行うと共に、けいわ荘の知識や技術を地域福祉に還元してまいりました。

１）居宅介護支援センターけいわ荘

Ⅰ）居宅介護支援

**平成28年度年間計画件数　1,213件**

**平成27年度年間計画件数　1,110件**

**（前年度比　9.3％増）**

Ⅱ）通所介護

**平成28年度稼働率　59.1％**

**平成27年度稼働率　58.8％**

Ⅲ）訪問介護（障害福祉を含む）

**平成28年度延べ人数　5,736人**

**平成27年度延べ人数　5,736人**

**（前年度比　±0）**

**平成28年度件数　371件**

**平成27年度件数　392件**

**（前年度比　5.4％減）**

Ⅳ）短期入所生活介護

**平成28年度稼働率　 98.0％**

**平成27年度稼働率　101.0％**

**平成28年度延べ利用者数　3,578人**

**平成27年度延べ利用者数　3,697人**

**平成28年度年間利用者実数　　407人**

**平成27年度年間利用者実数　　414人**

２）地域包括支援センター

**【実　績】**

**Ⓐ　支援件数**

**平成28年度件数　1,408件**

**平成27年度件数　1,207件**

①　介護予防プラン件数

②　総合相談・権利擁護件数

**平成28年度件数　5,508件**

**平成27年度件数　4,153件**

③　ケアマネジメント支援件数（ケアマネージャーの相談・支援、処遇困難事例支援）

**平成28年度件数　　155件**

**平成27年度件数　　159件**

　④　実態把握調査件数

**平成28年度件数　　115件**

**平成27年度件数　　120件**

**Ⓑ　教室・相談・会議等の活動状況**

３）配食サービス

**平成28年度年間利用者実数　　342人**

**平成27年度年間利用者実数　　398人**

**平成28年度年間利用者実数　　36人**

**平成27年度年間利用者実数　　45人**

**平成28年度年間利用者実数　　 6人**

**平成27年度年間利用者実数　　21人**

**平成28年度年間配食数　5,624食**

**平成27年度年間配食数　6,969食**

**平成28年度年間配食数　446食**

**平成27年度年間配食数　543食**

４）えまーぶる

Ⅰ）通所介護事業所えまーぶる

**平成28年度稼働率　67.0％**

**平成27年度稼働率　73.3.％**

**平成28年度年間利用者実数　 963名**

**平成27年度年間利用者実数　1,045名**

Ⅱ）居宅介護支援事業所えまーぶる

**平成28年度年間計画件数　1,297件**

**平成27年度年間計画件数　1,264件**

**（前年度比　2.6％増）**

５）ケアプランセンターけいわ

**平成28年度年間計画件数　1,502件**

**平成27年度年間計画件数　1,046件**

**（前年度比　43.6％増）**

３．管財課

**総　括**

懸案事項でありました、水道管の改修（給水管の直接取り入れ）工事を今年度実施し、終了することができました。一昨年の漏水時には、入居者の皆様に大変ご不便をお掛けいたしましたが、今後も監視を怠り無く管理してまいりたいと思います。防災及び交通事故防止においては、それぞれマニュアルを新たに作成し、きめ細やかな管理体制を構築し、安全体制を強化し、今後に継続したいと思います。

（重点取組事項）

　（1）ライフライン安定供給の構築

　（2）地震防災の強化と防火対策

　（3）交通事故防止活動の実施

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組事項 | | 取組内容と達成目標 | 目標達成状況 |
| （１） | ①給水装置の改修 | 県水道本菅を施設敷地まで延長、受水槽を新設し  飲料水、生活用水の安定供給をおこなう。 | 7月に新設受水槽基盤整備を  完了し、9月より給水管布設及び受水槽工事を着工、12月上旬完了しました。順調に稼働しています。 |
| ②給湯システム改良工事後の効果検証 | 新館棟給湯システム改良策としてエコキュート設備を新設、既存ボイラーに接続しハイブリット方式で燃料削減をめざしている。運転データを取り最適な運転状況となるよう調整・管理を行う。 | エコキュート導入後、徐々に燃費効果が進んでいて、今年度は導入前より45％灯油を削減できました。  今後も最大限の効果が出るよう引き続きデータを取り、機器の調整管理を行います。 |
| ③自主的な設備営繕の遂行 | 簡易的な修繕、清掃業務については極力施設スタッフにて恒久的に行う。また物品の購入、設備工事及び契約等の更新時には複数の業者に見積を依頼し  経費のコストダウンを図る。 | 新館3・4階洗濯室の改修の他、壁紙等の張替え及び施設侵入防止のセンサーライトの設置等を行った。 |
| （２） | ①地震災害の備えと対策 | 防災対策マニュアルの見直しをします。各部署別の行動基準を定め、各職員が迅速にて適切な行動がとれるよう、安全対策をより一層進めます。また災害時等で職員の安否確認及び連絡方法として、インターネットを活用したシステムを導入します。 | 各部署単位の防災マニュアルをフローチャート方式で作成。6・10月にはマニュアルを基に地震直後の対応、災害用備品を使った応急対策訓練や屋内階段からの下階への避難方法及び安否確認メールの返信方法の確認等を行った。 |
| ②消防訓練と防災訓練の実施 | 主として夜間時の火災発生を想定した訓練とし、  新規職員を含めた出来るだけ多くの職員参加で行う。また地震を想定した防災訓練では防災対策マニュアルを活用し、緊張感を持った訓練とする。 | 4月26日に主に新入職員を対象に夜間火災を想定した通報・初期消火・避難訓練を行った。（参加者27名） |
| （３） | ①交通事故防止の推進 | 高齢者やオートバイの関係する交通事故が多発している現状があり、基本的な交通ルールの厳守や  マナーを遵守するよう、掲示板等で安全教育を推進する。 | 職員の送迎時、訪問時並びに通勤時を含めた交通事故防止を目的とした安全運転マニュアルを作成した。  各季節の交通安全週間に合わせ、けいわ荘安全運転10ヶ条等を標示し、交通規則を厳守するよう教育した。 |
| ②施設車両の管理 | 整備不良で重大な事故につながらないよう定期点検や送迎前等で日常点検を実施するよう教育する。  交通事故が発生した場合は負傷者救助を最優先とし、保険会社と連携しながら対応する。 | 軽度な物損事故は4件ほどありましたが、人身事故等は幸いありませんでした。車両29台の車検及び点検整備を定時に行い、重大な事故に繋がらない様管理しました。 |

　主な平成28年度施設補修・改修関係内訳書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 補修改修項目 | 場所 | 番号 | 補修改修項目 | 場所 |
| 1 | 新設受水槽基礎工事 | 施設 | 8 | 給水施設改修電気工事 | 施設 |
| 2 | プロジェクター交換 | 通所介護 | 9 | 給水引込、受水槽工事 | 施設 |
| 3 | エアコン修理 | 通所介護 | 10 | 受水槽目隠しﾌｪﾝｽ工事 | 施設 |
| 4 | 新設受水槽フェンス | 施設 | 11 | 機械室換気装置修理 | 新館地下 |
| 5 | 温蔵庫交換 | 厨房 | 12 | 浄化槽水中ﾌﾞﾛｱ2台交換 | 新館 |
| 6 | 3モーターベッド購入 | 一般棟 | 13 | ｴﾚﾍﾞｰﾀｲﾝﾊﾞｰﾀ修理 | ユニテ |
| 7 | 機械浴槽修理 | 全般 | 14 | 全自動軟水器増設 | 厨房 |

４．総務課

**総　括**

平成２８年度は「社会福祉法人等の一部を改正する法案」により社会福祉法人制度の在り方についての改正がなされました。この改革が本格的に始まったことにより国レベルの動きは勿論、県や市町村の方針についてもしっかりと情報収集を行うとともに、行政情報のみに翻弄されることなく、法人理念に基づいた「あるべき姿」も見据えつつ、当法人の中期ビジョンを描きつつ、経営の安定を目指してまいりました。

（重点取組事項）

　（1）利用者サービスの充実

　（2）職員及び指導層の充実と育成

　（3）業務の合理化と科学化の取り組み

　（4）経営力アップと新規事業への取り組み

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組事項 | | 取組内容と達成目標 | 目標達成状況 |
| （１） | ①より良いサービス提供へのサポート | 各職員が質の高いサービス提供が行えるよう裏方として支える。  ご利用者およびご家族のニーズに耳を傾け、できる限り要望に応えられる体制を構築する。 | 介護職員がクオリティの高いサービスの提供が行えるよう、事務職員一丸となって協力した。  その結果、ご利用者ならびにご家族のニーズに近付けることができた。 |
| ②心からの接遇 | 電話・窓口対応等にあたり、心配り・気配り・気のつく対応に努める。 | 接遇に対するスキルの向上に努めたが、十分とは言えず、次年度の課題となった。 |
| ③満足度・信頼感の充実 | サービスに対する満足度の把握や苦情等への迅速な対応に努める。  財務帳票等の公表により透明性を担保し信頼を得る。 | 窓口での挨拶・笑顔を絶やさず励行できたと考える。  苦情等は殆どなく、ステークホルダーからの信頼は得られていると考える。 |
| （２） | ①研修支援 | 職員の資質向上のための施設内外での研修を支援すると共に自らも積極的に参加する。  指導層の職員に対しては定期的な研修会に参加させスキルアップを目指す。 | 年３回の施設内研修を実施し、職員個々のスキルアップに繋がった。  外部研修会では、職員に対し、積極的に参加できるよう奨励・配慮した。 |
| ②人事考課と人材確保 | 職員の勤労意欲の向上を図るための人事考課制度を活用していく。  計画的に人材確保ができるよう各学校関係に求人活動を行う。 | 職員の意欲を醸し出す処遇と育成を発展的に継続し、限りない成長を促せるように努め、モチベーションが高まるよう配慮した。  人材確保については、各学校への訪問活動により有能な5名（正職員3名・パート2名）の新人を確保することができた |
| （３） | ①職務の明確化 | 各自の職務を明確にし、事務会議等を通して情報の共有化に努める。 | 朝の打ち合わせを充実させ、情報の共有に努めた。 |
| ②事務処理のデジタル化 | 膨大な事務書類を極力デジタル化し、それを皆で共有できるシステムを構築する。 | 今年度はその仕組み・方法等を検討し、次年度試行していく予定である。 |
| （４） | ①障がい者支援事業への参入 | 障がい者の就労継続支援等新規事業への参入にて収益率アップを図り今後の経営を安定させる。  初期段階として洗濯・清掃業務を行い、以後他事業への拡大を図る。 | 管理職養成の研修会を実施し、具体的な検討がなされ、次年度以降具現化していく。  障がい者就労支援においては、今年度試行として養護学校生を1名受け入れ、現場実習を2回実施し、その結果、厨房パート職員として採用に繋がった。 |

５．ケアハウス「えがりて」

　　　内外部の地域包括支援センターや広域医療機関、居宅介護支援センター等のご協力を仰ぎ、平成2８年度末現在、【定員30名に対し、入居者が25名】稼働率81.７%でした。次年度に向けて、更なる広報活動に力を入れ、残り５床の確保に全力を注いでまいりたいと考えます。

言うまでもなく、ケアハウスは、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことに不安があり、ご家族の援助を受けることが困難な方を支援する施設であります。

入居者様の居宅であることを十分認識し、笑顔が絶えないケアハウスえがりてにしていくために、入居者の皆さんの要望に耳を傾け、満足度の高いサービスの提供を行うことを基本として運営してまいりました。

そして、運営の目標として、ケアハウスが居宅サービスであることを踏まえ、入居者様の特性に配慮した住みよい環境を提供してまいりました。

今後とも、入居者様の自主性を尊重することに主眼をおき、入居されている皆様が、明るく心豊かな日常生活を送っていただけるようサポートしてまいります。

**平成28年度稼働率81.7％**

**平成27年度稼働率86.4％**

1. 男女別入居者年齢構成（平成29年　3月31日現在）
2. 平均年齢、最高・最低年齢

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 入居者数 | 平均年齢 | 最高年齢 | 最低年齢 |
| 男性 | 7 | 84.3歳 | 95歳 | 75歳 |
| 女性 | 18 | 86.8歳 | 97歳 | 70歳 |
| 総数 | 25 | 86.1歳 |  |  |

**【研修会報告】**

1. **外部研修**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 日 | 研　　　修　　　名 | 参加人員 |
| 4 | 21 | 神奈川県介護支援専門員実務研修会 | 1 |
| 新任福祉施設等職員合同研修会（於．横浜市開港記念会館） | 1 |
| 5 | 19 | 神奈川県介護支援専門員実務研修会 | 1 |
| 31 | 栄養療法を支えるための多職種連携を考える |  |
| 6 | 2 | 第15回かながわ高齢者福祉研究大会 | 11 |
| 神奈川県介護支援専門員実務研修会（於．神奈川県民ホール） | 1 |
| 8 | 三好春樹　新しい認知症ケア（於．プロミティ厚木） | 6 |
| 17 | 精神疾患の理解とその対応（主催：荻野地域包括支援センター） | 7 |
| 24 | ニチワ医療福祉ソリューションセミナー（於．ニチワ電気東京支店） | 1 |
| 29 | PEACH厚木栄養講座（於．PEACH厚木） | 1 |
| 7 | 5 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．サンピアンかわさき） | 1 |
| 6 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．サンピアンかわさき） | 1 |
| 7 | 第1回多職種連携研修（愛甲地区医療介護連携会議） | 3 |
| 21 | 認知症キャラバンメイト養成研修会 | 1 |
| 28 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．神奈川県立公文書館） | 1 |
| 29 | こころの病の基礎知識研修会（主催：荻野地域包括支援センター） | 1 |
| 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．神奈川県立公文書館） | 1 |
| 8 | 12 | 「デイサービス南さいわい」見学会（於．社会福祉法人　三條会） | 1 |
| 19 | 地域包括支援センター職員等養成研修〈初任者〉（於．帆船日本丸訓練センター） | 1 |
| 24 | 地域包括支援センター職員等養成研修〈初任者〉（於．帆船日本丸訓練センター） | 1 |
| 25 | チームビルディング研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 26 | チームビルディング研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 中堅職員キャリアパス対応生涯研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 29 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．平塚商工会議所） | 1 |
| 30 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．平塚商工会議所） | 1 |
| 31 | 神奈川県相談支援従事者初任者研修（於．平塚商工会議所） | 1 |
| 主任介護支援専門員研修（県立保健福祉大学） | 1 |
| 9 | 2 | 中堅職員キャリアパス対応生涯研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 5 | 熊本地震の初動支援（主催：愛甲地区高齢者福祉施設連絡協議会） | 13 |
| 8 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 13 | 「視覚障害のある方への支援」研修（於．神奈川リハビリテーション病院） | 1 |
| 15 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 16 | コミュニケーション研修（主催：厚木市社会福祉協議会） | 2 |
| 20 | 第1回神奈川県認知症基礎研修 | 1 |
| 21 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 22 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 23 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 28 | 接遇リーダー研修 | 2 |
| 29 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 10 | 3 | 神奈川県介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修 | 1 |
| 4 | 神奈川県介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修 | 1 |
| 6 | 虐待のない笑顔いっぱいの社会をつくろう（主催：厚木市社会福祉協議会） | 2 |
| 8 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 9 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 12 | 接遇リーダー研修 | 2 |
| 神奈川県介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修 | 1 |
| 14 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 特別養護老人ホームの看取りと在宅での看取り（主催：荻野地域包括支援センター） | 8 |
| 19 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 20 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 24 | 全国地域包括・在宅介護支援センター研修大会（於．新横浜プリンスホテル） | 2 |
| 25 | 全国地域包括・在宅介護支援センター研修大会（於．新横浜プリンスホテル） | 2 |
| 27 | 神奈川県喀痰吸引研修 | 1 |
| 31 | 神奈川県介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修 | 1 |
| 11 | 1 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 2 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 8 | 非正規職員研修（於．かながわ福祉人材研修センター） | 1 |
| 10 | 「軽費ケアハウスの生活相談員に期待される役割」研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 14 | 業務改善等研修会（於．神奈川県福祉会館） | 2 |
| 15 | ICTを活用した多職種連携による在宅医療（於．厚木市総合福祉センター） | 2 |
| 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 22 | 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 28 | 業務改善等研修会（於．神奈川県福祉会館） | 2 |
| 29 | コーチング研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 30 | コーチング研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 12 | 2 | 「聞こえていますか家族の声」（主催：厚愛地区福祉連絡会） | 24 |
| 7 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 10 | 主任介護支援専門員研修（県立保健福祉大学） | 1 |
| 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 12 | 法人後見担当者養成研修（海老名総合福祉会館） | 1 |
| 14 | 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 15 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 20 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 21 | 第2回軽費・ケアハウス部会（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 22 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 神奈川県介護支援専門員更新研修 | 2 |
| 1 | 10 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 14 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 17 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 19 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 20 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 24 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 26 | ストレスチェックと人が辞めない組織づくり | 1 |
| 27 | 感染症予防（主催：厚木市社会福祉連絡会） | 7 |
| 28 | 介護ロボットってなあに？ | 3 |
| 30 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 2 | 7 | 介護新専門員研修専門研修課程Ⅰ（於．神奈川県総合薬事保健センター） | 1 |
| 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 8 | 介護技術研修（於．ウィリング横浜） | 1 |
| 事務研修会（於．神奈川県福利協会） | 1 |
| 17 | 成年後見制度（任意後見含む）と実際（主催：荻野地域包括支援センター） | 8 |
| 20 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 21 | 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ研修（於．神奈川社会福祉会館） | 1 |
| 22 | 介護技術研修（於．ウィリング横浜） | 1 |
| 24 | 「鶴瑛のふまじめ介護」講談 | 10 |
| 27 | 第2回多職種連携研修会（主催：厚愛地区医療介護連携会議） | 4 |
| 3 | 1 | 荻野地区地域福祉推進委員会研修視察（東京都八王子市児童養護施設） | 1 |
| 2 | プレ・リーダー研修（於．神奈川県社会福祉会館） | 1 |
| 13 | かながわ高齢協・地域包括・在宅介護支援センター部会研修（於．神奈川工科大学） | 4 |
| 16 | 認知症地域支援推進員研修（於．波止場会館） | 1 |

1. **施設内研修**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 日 | 研　　修　　名 | 参加人員 |
| 6 | 8 | 「認知症サポーターになろう!!」　　講師：畑　武子氏（荻野地域包括支援センター管理者） | 71 |
| 11 | 22 | アンガーマネジメント①　　　　講師：佐藤　恵子氏（アサーティブコミュニケーション） | 77 |
| 2 | 20 | アンガーマネジメント②　　　　講師：佐藤　恵子氏（アサーティブコミュニケーション） | 66 |

1. **管理職研修**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 日 | 研　　修　　名 | 参加人員 |
| 4 | 15 | ①　人事給与制度運用について  　・新人事制度における評価制度構築準備  　・事業部門制における人事制度の運用について  　・その他、当該制度運用にかかわる手続きの調整について  ②　組織改革推進について  　・課題解決型訓練による新体制下での経営戦略構築と推進並びに組織構  築  ・管理者養成 | 12 |
| 5 | 13 | 12 |
| 6 | 10 | 12 |
| 7 | 8 | 12 |
| 8 | 26 | 12 |
| 9 | 9 | 12 |
| 10 | 14 | 12 |
| 11 | 25 | 12 |
| 12 | 9 | 12 |
| 1 | 13 | 12 |
| 2 | 17 | 12 |
| 3 | 10 | 10 |

**《メ　モ》**